

2021年度春 地方都市インターンシップ

【石川県編】

協力企業様

株式会社西原商会様
小松電業所様

花紫様

お花見久兵衛様
株式会社ぶなの森様

東洋大学 オンライン・インターンシップ 石川県編

地方インターンシップ第三弾【石川県】スタート！！

2022年2月21日（月）から5日間にわたる石川県地方都市インターンシップがオンラインにて開催されました。当初、現地での対面インターンシップの予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から急遽オンラインに切り替わりました。企業の皆様にもご協力をいただき、急な対応にも応じてくださり大変感謝しております。

本インターンシップは、一極集中化する東京都ではなく、地方都市の良さを見つけ、今後の就職活動において1ターン就職を含めて新たな価値観で臨めるような機会の提供を目指したプログラムです。コロナ禍で働き方に変化が見え始めた昨今、地方から遠隔での仕事をする企業も見え始めてきました。地方企業の魅力、地方都市で生活する利点などを本インターンシップを通じて学習していきたいと思えます。

今回、石川県からは「株式会社西原商会」様「小松電業所」様「お花見久兵衛」様「花紫」様「株式会社ぶなの森」様の5社にご協力をいただきました。

【株式会社西原商会様】

「味の世界を広げ、笑顔広げたい」という信念のもと、ホテルやレストラン、結婚式場などに食品卸売業として携わっています。

【小松電業所様】

エンジンフードや運転ユニット、制御盤などを作る製造業。国内外に拠点を有するグローバルカンパニーです。

【お花見久兵衛様】

1300余年の歴史ある日本三湯の山中温泉旅館。外国人材採用にも積極的なグローバルカンパニーです。

【花紫様】

加賀温泉郷の一角にある山中温泉。創業110余年を超える温泉旅館。「おもてなしの心」と「感謝の心」創業より受け継ぐ日本の心を大切にしています。

【株式会社ぶなの森様】

地方への移住支援を行い、自治体などの地域振興にかかる企画立案、広告宣伝活動も行っています。



2月21日（月）1日目：石川星稜大学講義 + 学生交流会

金沢星稜大学教授本康宏史様にご講義をしていただきました。歴史ある金沢について学習しました。また金沢星稜大学の日本人学生とも交流しました。学生同士日常会話を通じて、お互いの進路の相談などをしました。さらに株式会社 金城樓代表土屋兵衛様より最高位のおもてなしについてのお話も伺いました。「サービスとおもてなしは違う」普段なかなか聞くことのできない話に学生も聞き入ってしまいました。

2月22日（火）2日目：企業研修（西原商会様）

西原商会様による企業研修が行われました。学生たちは、他大学の日本人学生と一緒に、営業体験を行いました。「営業は大変」というイメージを持つ学生が多いですが、やってみると意外と楽しかったり、人に信頼されること、他人の気持ちを考えることなど大切なことが多々ありました。

2月23日（水）3日目：金沢星稜大学座談会

本日は、金沢星稜大学の学生で石川県内企業に就職内定をもらっている学生さん達との交流会を行いました。実際に内定をもらっている学生の話にはとても説得力があり、本学の留学生も大変刺激を受けました。いずれの学生もずっと前から準備をしていたということで、尻に火をつけられる思いで話を聞いていました。



東洋大学 オンライン・インターンシップ 石川県編

2月24日（木）4日目：企業研修（小松電業所様、花紫様、お花見久兵衛様、ぶなの森様）

本日各企業様に分かれてオンラインインターンシップを行いました。東京は晴天ですが、石川県は雪が降っており、日本アルプスを越えるとずいぶん景色が違ってくるのがわかりました。しかし、旅館から見る山中温泉の雪景色はとてもきれいで、ぜひ一度は訪れてみたいと思わせるような場所でした。また、留学生が一番気になるビザについても話を聞くことができ、とても勉強になる時間を過ごすことができました。

2月25日（金）5日目：事後研修

5日間の地方都市インターンシップ【石川県編】が終わりました。北陸新幹線が開通し久しいですが、東京から金沢まで新幹線で片道約2時間半。外国人に人気の観光地でもある石川県は、加賀百万石とも言われ街と自然が融合した歴史ある都市です。オンラインからも伝わる豊かな自然にゆったりとした時間が流れ、住みやすい環境であることがよくわかりました。また、学生に対しても丁寧に親しみやすく対応してくださり人の温かさも感じることができました。

企業様へ

ご多用の中、東洋大学の地方都市インターンシップにご協力いただきありがとうございました。現地での実習であったはずのインターンシップではありますが、昨今の社会情勢により急遽オンライン開催をお願いするようになりました。しかし、オンライン開催にも快く引き受けてくださり大変感謝しております。

留学生にとって、知らない土地で就職することは不安なことも多いです。しかし、石川県で働く先輩外国人のお話を聞くことで大変勇気づけられました。留学生採用に積極的な企業様が多く、またそこで働く外国人社員の方々が生き生きと仕事をされているのを見ることができて、とてもよい経験となりました。

金沢星稜大学様にも大変お世話になりました。「金沢学」の御講義や金城樓様のお話は、地方就職する上で大変重要な知識であり、勉強になりました。また、現地の日本人学生たちとの交流によって、石川県を訪れる1つのきっかけを作ることができました。重ねて感謝申し上げます。

参加者の感想

職業体験を通じて身につけたとは、コミュニケーションスキルです。仕事をする上でコミュニケーションは必ず必要なものです。インターンシップを経験することで、学生同士の付き合いではなく、社会人としてのコミュニケーションスキルを学ぶことができました。インターンシップに参加した際には、受け身ではなく積極的に先輩社員などに話を聞くといいと思いました。就業体験を通じて感じたことは自分の能力不足です。就業体験の流れでいろいろな言葉が理解できていなかったです。インタビューをするとき、何をすべきかわかりませんでした。そして、小松電業所様の社風も感じました。実力主義とアットホームな職場環境ということです。（理工学部2年王 森）

西原商会様では非常に重要なことを学びました。最初は「一つの会社を、一つの商品を売り込む」ということを考えました。体験ゲーム中ずっとこのように考えていました。売り込んだ後のことを全く考えていませんでした。これは営業職としては失格です。体験ゲームが終わった後、企業様の説明を聞きました。そしてビデオを見た後、営業職の一日の仕事と売り込みの仕方などをよく学びました。これは私に対して、最も印象に残るものでした。花紫様やお花見久兵衛様から、旅館の仕事を学びました。外国人就職の困難点や面接の際の重要な点がわかりました。外国人にとって、やはり語学が問題です。これは時間をかけてよく勉強すれば問題ないです。しかし、「自分の過去」というものは変えることができません。ビザを取得する際に、過去が大切ということでした。（社会学部2年トウ イチテキ）

西原商会様の仕事体験で営業職として仕事体験をさせていただきました。営業はとても大変なイメージだったのですが、体験してみたらその通りでした。私は一番厳しいホテルを任せられ、最初営業訪問に行った際に、自己紹介だけして帰らされました。しかし、先輩社員からのアドバイスを聞いて、再度チャレンジしてみた結果、お客様であるホテルのスタッフさんと仲良くなり、信用をもらって営業することができました。「営業する」という考えよりも「信頼をもらってその人に必要なものを考えること」が大事であると学びました。（文学部4年キム ヘリョン）

将来の職場の環境、例えば会社の施設や社内の同僚の雰囲気などを事前に把握することができました。そして、仕事に必要な能力を理解し、大学で努力して早めに準備することが大事だとわかりました。営業マンの仕事内容、大変さ、製造業が今日直面している課題やこれからの発展方向は省人化製造、自動化に進んでいるということがわかりました。私が体験した職場は実力主義が重視されるアットホームな雰囲気の職場でした。（法学部3年 ショウ フッケン）

東洋大学 オンライン・インターンシップ 石川県編

参加者の感想

仕事でいつも優しい人と交流するのは一番いいと思いました。こうすれば、仕事がうまくいくと思いました。しかし、実際は厳しい人もいます。うまくいかないと私たちに批判することもあります。すべては私たちのより良い仕事のためです。仕事は上手に完成すれば、だれも批判はしません。もう一つ感じたのは、以前は自分が絶対に東京で働くという考えしかありませんでした。就業体験を通じて地方で働くのもよい選択肢かもしれないという考えに変わりました。なぜかというところ、地方で働く、ストレスが小さく、物価が比較的安いからです。仕事をしたとき、本当に疲れて、やめたいと思うこともありました。しかし仕事が終わった後に、収穫があると感ずることができました。全ての経験には価値があります。(理工学部2年 呉 迪)

就業体験を通じて、学生時代に会社で働くことができよかったです。それは将来、自分に合った仕事を見つけるときに大いに役に立つと感じたからです。残念ながら、コロナの流行の影響で、直接石川県に行って、企業様に出向いて実際の仕事を体験することはできませんでした。しかし、企業様と大学の努力のおかげで、私たちが非常に楽しく興味深いオンライン就業体験ができたと考えます。この間、外国人留学生にとっても、日本の長い歴史や文化を理解するために、地方で働くことは興味深い経験になると思います。外国人留学生は積極的に色々な業界や企業の情報を得て、早いうちに就職活動を実施必要があると考えています。日本の企業への就職ができるチャンスをできるだけ広げたいと思います。(グエン テウイ リン)

西原商会様で仕事体感ゲームに参加しました。グループのメンバーと一緒にそれぞれの企業に行って、自社の商品をプロモーションしました。相手の要求を聞く、相手の計画を考え、立場に立って、使えそうな商品をおすすめすることは面白いと思います。この過程で、苦勞を感じたところもあります。最初に訪問する際、信頼されてないため、話ができず、すぐ追い出されたことがありました。如何に、相手との結びつきまたは信頼関係を築くことが大切であることを学びました。もちろん、これも難しいことです。営業職だと、会社の説明やパンフレットによって説明することは足りない、自分が商品への理解をして、プロモーションをすることはもっと納得できると感じました。なぜ日本企業はグループワークを重視するのか、グループワークにおける協力の重要性も感じました。(国際観光学研究所1年 陳 貝麗)

まずは西原商会様でした。はじめてのインターンシップでしたので、人事の方が外国人で明るい方がよかったです。外国人社員に進行役を任せることも外国人採用をアピールできることだと思い、好印象でした。旅館様の方は就業型ではなく、仕事の内容について説明をしていただきました。お花見久兵衛様が二人の外国人従業員についても紹介されたので、興味深く感じました。(文学部3年 戴 特印颯)

2月22日に参加した株式会社西原商会様の仕事体感ゲームは、グループワークで営業社員として、ホテル、カフェと居酒屋に自社が扱う食材をzoomで訪問して販売しようという活動でした。所属するグループは他の3人は全てが日本人学生でした。営業職には、不安でも頑張らなければならないので、グループの皆さんと一生懸命協力して、最終的には一位を獲得していい成果ができました。その前までは営業職に対して一定程度の理解があり、自分の内向的な性格では、なかなかできないと思っていました。しかし、今回は想像以上できたと感じたので、自己肯定感が高まりました。そして2月24日に、株式会社小松電業所様の社員4名と社長、一人20分のインタビューをしました。インタビューの準備では、目的とテーマを設定し、メンバーの役割の設定、質問の内容、順番などを45以内で準備しなければならないので、短い間にグループ内のコミュニケーションの質と効率を高めることは非常に重要だと感じました。私たちのグループメンバーの4人は実際に時間が足りなくて、混乱してしまう時もありましたが、設定した質問を通じて社風や雰囲気、事業内容、求める人物像など具体的なイメージがわかりました。社員の方々の回答は優しいし、外国人留学生の視点から地方就職のメリットとデメリットも教えていただいたので、将来の就職に役に立つと思いました。社長へインタビューをした時は、厳しい雰囲気を感じて、話が固まった時はありました。社長にインタビューをする機会は珍しいので、社長が紹介された理念に合うか合わないか直接に知ることができて、非常にいい経験でした。(法学部1年 楊 羽涵)

私が体験させていただいた企業は、私の知識があまりない業界なので、すごく新鮮感があり、思ったより楽しかったです。個人として視野を広げられて、これからの就職活動も広い視野で臨むことができそうです。そして、人事部の方だけではなく、実際に仕事をしている社員の方、また部長とお話もあり、企業の雰囲気がよりよく知ることができました。もしこの会社に入ったら・・・と、ここで仕事している姿がイメージができて、これは何よりの参加した甲斐があったと思います。(理工学部3年 カク シカ)

